

高校入学時に 学習者用端末のご準備をお願いします

県立高校では、授業や家庭学習において1人1台の端末を活用し、生徒一人ひとりの理解度や関心に応じて学ぶ「個別最適な学び」、他者と協力しながら課題に取り組む「協働的な学び」の一体的な充実を図っています。

こうした学びの中で、生徒の皆さんには、個人所有の端末を活用しながら、データの重要性や活用方法、情報セキュリティなどについて理解を深め、デジタル社会における良き担い手として成長してほしいと願っています。

これらの学びを効果的に進めるため、学習に使用する端末は、原則として、各ご家庭でご準備いただくこととしております。保護者の皆様にはご負担をおかけすることとなりますが、こうした取組の趣旨をご理解いただき、みやぎの子どもたちがデジタル社会で活躍できる人材へと成長していけるよう、ご協力をお願い申し上げます。



使用する端末や準備方法は、合格者説明会等で詳しく説明します。

購入スケジュールや準備方法は、合格発表後に各校からご案内する予定です。特に、端末の購入については学校ごとに用意すべき端末が異なりますので、

学校からの説明前の購入は避けていただきますようお願いいたします。

次のような学習の場面で活用しています。

		
1人1人の習熟度に応じた個別最適な学習	シミュレーションなど、デジタル教材を用いて思考を深める学習	情報端末の持ち帰りによる家庭学習
		
複数の意見・考えを議論して整理	グループでの分担・共同による作品制作	遠隔地や海外の学校等との交流授業

I人I台端末導入に関するQ&A

令和7年6月現在

Q1. 家庭で用意した端末を利用するメリットは

個人の興味・関心に基づいた学びを、自由度高く行うことが出来るようになります。また、個人端末の活用を通じて、情報の収集・整理・発信といった、将来に必要な情報活用能力を養うことが出来ます。

Q2. 購入する際の価格はどれくらいになりますか

購入価格については、学校が指定する端末・仕様、物価高騰の影響や端末のモデルチェンジなどにより変化するため、現時点で正確にお示しすることは困難です。決定し次第各校ホームページなどでお知らせします。

（参考：端末価格5万円程度に、各自が選択したオプション分（ペンなどの付属品や3年間の保証等）を加えたものとなる予定です。）

Q3. 準備が難しい場合はどうすればよいですか

やむを得ず準備が難しい場合は、一定の条件の下、貸出用の端末を使用することが可能です。詳しい説明は、合格発表後に行う入学者説明会で行う予定です。詳細は、入学する学校等へご相談ください。

Q4. すでに個人で所有している端末を、高校で使用することは可能ですか

学校の授業に支障なく使用できることや、ネットワークに接続するための条件を満たした端末については、持ち込みが認められる場合があります。学校ごとに条件等があるため、希望する場合はご相談ください。

Q5. 通信料はだれが負担するのですか

学校内で利用する場合は、学校のWi-Fiを利用することが出来ます。ご家庭で使用する際の通信料については、各家庭にご負担いただくことになります。なお、学校のWi-Fiを利用する場合には、接続のための手続きが必要です。

Q6. どのような端末を使用するのですか

現在、県立高校では、iPadやChromebookなど、学校の実情に応じて端末を選択し活用しています。入学後に各校で使用する端末（Chromebook、iPad、Windows端末等）については、今後、県教育委員会や各校のホームページ等で随時お知らせする予定です。

Q7. タブレットの代わりにスマートフォンを使用してもよいですか

デジタル教材や教科書等の見やすさ、レポートの作成や編集、シンキングツールやデザインツールの活用、他者との意見共有等の学習にはある程度の画面の大きさが必要なことから、学習活動にスマートフォンを利用することは適さないと考えています。また、校内のWi-Fiには、私物のスマートフォンの接続はできません。

問合せ先

本資料に関することについて

宮城県教育庁教育企画室情報化推進班 TEL:022-211-3612 e-mail:kyoikupi@pref.miyagi.lg.jp

本校で使用する端末について

宮城県村田高等学校 TEL:0224-83-2275 HP:<https://murata-h.myswan.ed.jp/>

村田高校のICT活用を紹介します！

2025.06.05

本校の
情報教育目標

昨年度より可能となった生徒一人一台のタブレット端末の利用を推進するため、各教科の授業や実習、および総合学習等でのタブレット端末のより一層の活用を促す。

理科ではこんな活用

「顕微鏡の使い方」の動画を作成し、観察実験の授業で活用しています。また、グーグルスライドなどを活用しながら調べ学習を行い、情報や意見を共有して、生徒同士がアクティブに活動しました。



国語ではこんな活用

「ロイロノート」を活用して生徒間の考えの共有や、小テスト・課題の配布および確認を行っています。これにより即時的なフィードバックができるようになりました。



数学ではこんな活用

「ロイロノート」を活用し、課題の配付や提出、画面共有や共同編集をデジタル管理し、授業を行っています。また、教員が作成した学習アプリを活用し、個別に問題演習を行う授業も行っています。



英語ではこんな活用

「DX加速化推進事業」により、他校との遠隔授業を実施しています。それぞれの学校で実施できない科目の授業を遠隔授業で補完し合うことで、生徒の学びの幅が広がっています。



本校の活用のポイント！

多くの教員（授業を担当する教員の8割以上）が、ICT機器を活用した授業を行い、わかりやすい授業内容への改善を目指す。